

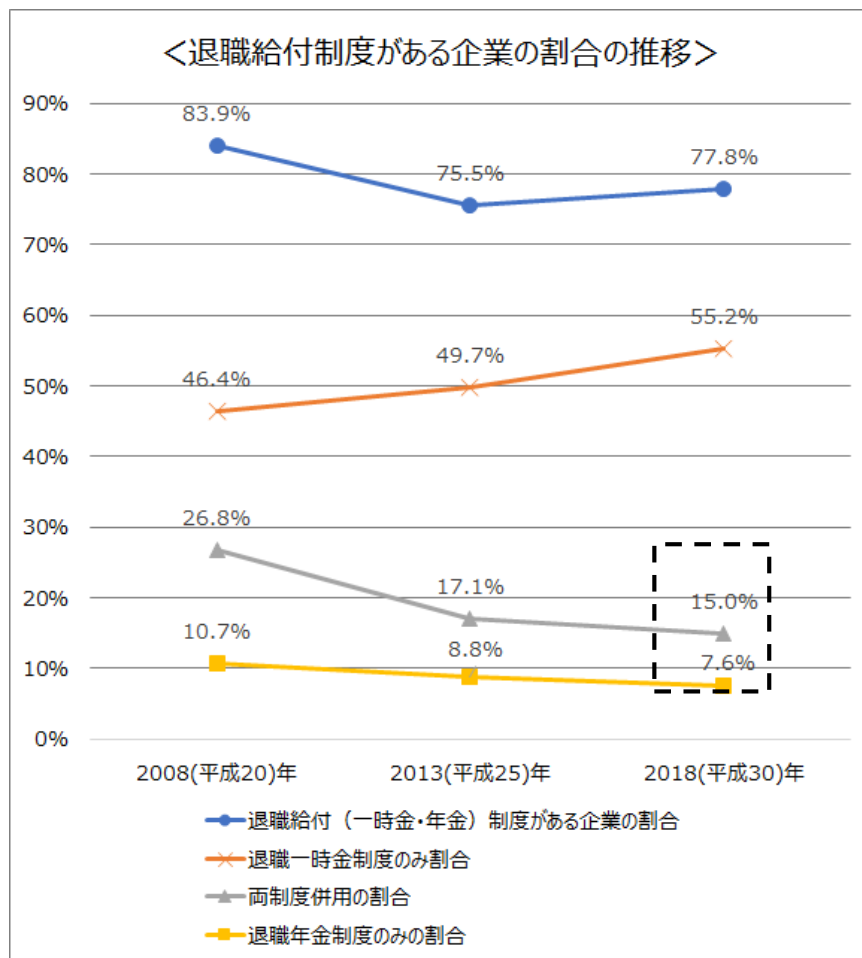
DC年金の普及にあたって考えられる課題

～人生100年時代における高齢期に向けた資産形成や資産の有効活用へ～

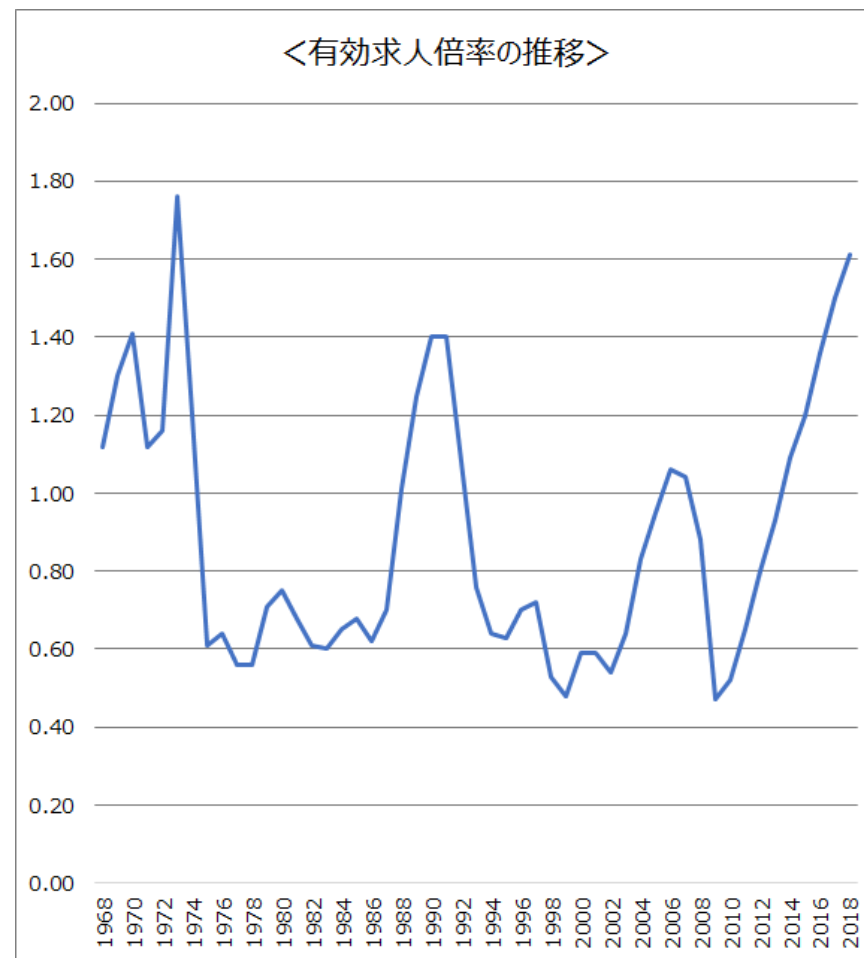
2019年4月15日

【現状①】企業における退職給付制度の状況

退職年金制度がある企業が減少するなか、人手不足は深刻化



（出所）第1回社会保障審議会企業年金・個人年金部会資料



（出所）厚生労働省「一般職業紹介状況（職業安定業務統計）」

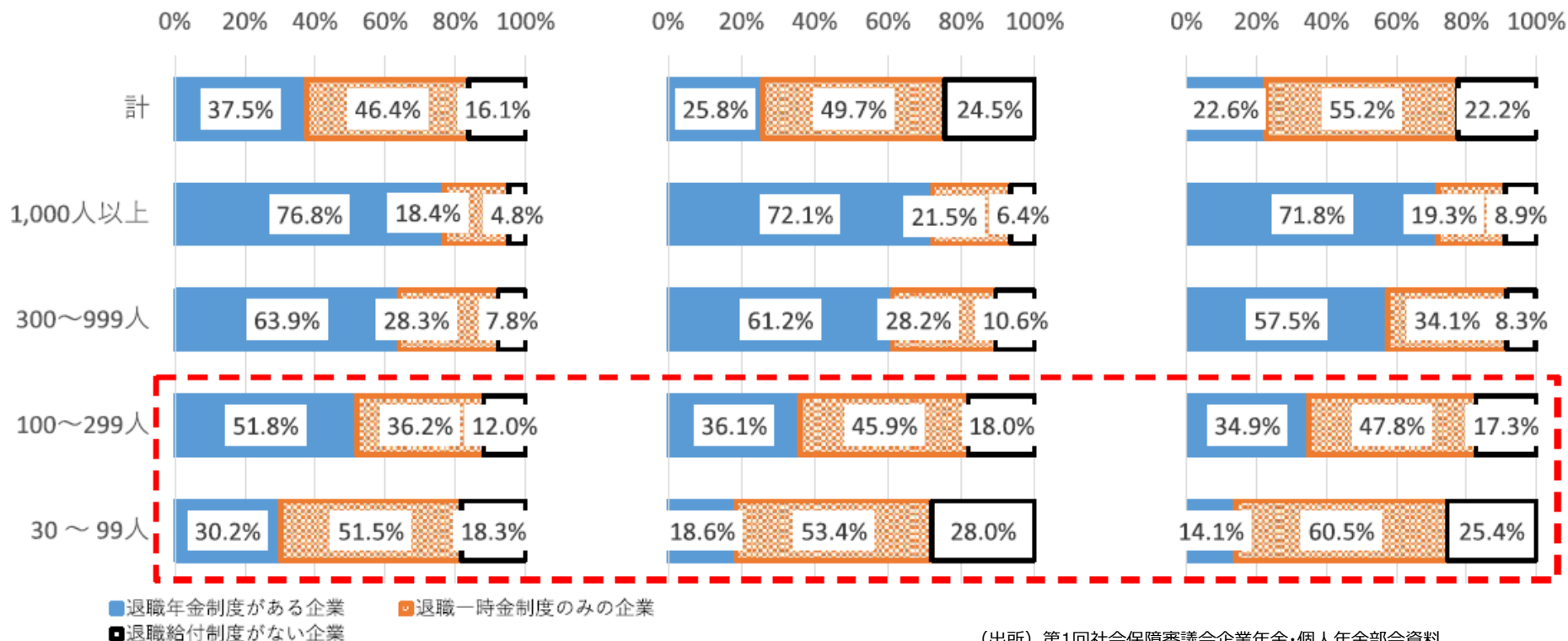
【現状②】従業員規模別の退職給付制度の実施状況

- 従業員規模が小さいほど退職年金制度の実施割合は低い。
- すべての従業員規模で退職年金制度の実施割合が低下しているが、従業員規模300人未満で減少が大きい。

退職給付制度の実施状況（企業割合・規模別、2008(平成20)年）

退職給付制度の実施状況（企業割合・規模別、2013(平成25)年）

退職給付制度の実施状況（企業割合・規模別、2018(平成30)年）



(出所) 第1回社会保障審議会企業年金・個人年金部会資料

【解決を図りたい課題①】 ～「デジタルDC」の実現～

電磁的手段で申請や決済等の手続きを一貫して完結

⇒制度全体としての手続き・コスト負担の軽減に寄与

取組み中	残課題	期待効果
<ul style="list-style-type: none">👉 投資教育における動画配信・DVD提供👉 LINEを活用した残高や資産配分の確認👉 「資産残高のお知らせ」のWEB化	<ul style="list-style-type: none">👉 紙や捺印を前提とした手続きが、規約申請・給付等における煩雑さに作用。👉 現状では口座振替払いのみ対応であり、利便性向上という観点から課題あり。	<ul style="list-style-type: none">👉 手続きの効率化・迅速化を実現し導入・変更の負荷を軽減。👉 カード払等、決済手段の多様化により利便性を向上。👉 フォーマットの共通化まで実現すると、関係者によるDC年金データの活用が容易になり、事務効率が向上。

【解決を図りたい課題②】 ～「シンプルDC」の実現～

複雑な制度・ルールそのものを簡素化

⇒容易に導入・規約変更が可能な制度を実現

取組み中	残課題	期待効果
<ul style="list-style-type: none">☞ 既に簡易型DC制度が創設されている。☞ 弊社でも「スマートDC」という類似の仕組みを創設。<ul style="list-style-type: none">① 20名以上から加入可② パターン選択で簡素な手続きで加入を可能に。	<ul style="list-style-type: none">☞ 特に大企業以外では人事・労務面に通じた社員が不足しがち。☞ 規約関連手続き等において、人事・就業規則等との不整合性で負荷が発生。☞ 現状のままでは、デジタル化にあたってシステム負荷が過大であり実現が遅れる可能性。	<ul style="list-style-type: none">☞ 事業主が確認・判断すべき項目を減少させ、独力で対応できる制度を選択肢に加えることで普及を促進。☞ 運管側の負担を軽減することで、中小企業への運管参入を促し、競争促進やサービス向上を実現。

ご清聴ありがとうございました。

引き続き、有意義な意見交換をさせていただきたく、何卒よろしく
お願い申し上げます。